



社協だより

— 安心して暮らせる福祉のまちづくり —

2025年

5月

No.326



母の日！

愛らしい子どもたちから♡



5月の社協だより

もくじ

- P2 赤十字運動／総務課
井関農機日赤表彰／総務課
- P3 地域サロン 200 回記念／地域福祉課
- P4 高齢者相談・地域福祉委員例会／地域福祉課
認知症サポーター養成講座／地域福祉課
- P5 社会福祉士連絡会／在宅福祉課
セブンイレブン寄贈／在宅福祉課
- P6 報告会／シルバー人材センター
高齢者の生きがいづくり／シルバー人材センター
- P7 社協情報／もの忘れ相談、CSW など
- P8 地域サロン／谷川わくわくサロン、笑顔で集うサロン会
地域を支えるふくしの輪／地域サロン感謝状授与

今月号の表紙は、母の日にちなみ「はびねすの児童館」に遊びに来られた海野さん親子に協力いただきました。

その他にも、当協議会の事業として「認知症サポーター養成講座」や、「赤十字運動」についてご紹介しています。

また、「社協情報」では、5月の相談日やお知らせを紹介しています。

社会福祉法人
益城町社会福祉協議会

令和6年度益城町分区実績

収入の部

	項目	金額
1	前年度繰越金	765,303 円
2	事務費交付金	353,399 円
3	事業費交付金	336,749 円
4	雑収入 (利息)	531 円
	合計	1,455,982 円

支出の部

	項目	金額
1	小地域活動配分金 (68 行政区)	336,740 円
2	団体助成	170,000 円
3	災害救護 (車両関係)	65,726 円
4	事務費	26,980 円
5	次年度繰越金	856,536 円
	合計	1,455,982 円

赤十字運動

総務課

赤十字運動で協力をお願いします！

赤十字は、スイス人アンリー・デユナン（第1回ノーベル平和賞受賞者）が提唱した、「人の命を尊重し、苦しみの中にいる者は、敵味方の区別なく救う」という考えのもとに世界中で活動している組織です。

日本では、日本赤十字社がその一員として活動しており、国内外の災害時の支援や、様々な困っている人々を助けるために、幅広い分野で活動を行っています。

日本赤十字社の前身である博愛社は、愛社が設立された5月には、毎年全国各地で一斉に「活動資金（会費）」の募集を行っています。各地で多発している災害時の活動や講習会、看護師養成といった、日本赤十字社が行う様々な活動は多くの皆さまからの会費やご寄付によって支えられています。

今年度も、各地域の区長さんを通じて、皆さまにご協力をお願いをしています。活動資金への協力は任意です。ご協力よろしくをお願いします。

井関農機日赤表彰

総務課

井関農機株式会社 日赤「金色有功章」受章

井関農機株式会社（本社・愛媛県松山市、代表取締役社長・富安司郎氏）が、日本赤十字社より「金色有功章」を受章されました。3月19日に行われた表彰式では、(株)ISEKI M&D（熊本）の酒井社長が代理で受けられました。

「金色有功章」は、日本赤十字社が設ける表彰制度で、一定額以上の活動資金を収めた功労者などに贈られ、今回の受章は、1969年より長年にわたる寄付活動が評価されたものです。

同社は、農業機械の製造・販売を通じて食料生産を支えるとともに、地域社会や国内外の福祉・災害救援活動にも積極的に関わってこられました。「平成28年熊本地震」当協議会による災害ボランティアセンター運営の際にも、多大な支援をいただきました。

今回の受章は、そうした姿勢が実を結んだことを示すもので、企業としての社会的責任を重視する取り組みの一環です。同社では、今後も社会貢献活動を続けます。



(株) ISEKI M&D (熊本) の酒井社長が表彰を受けられました



「金色有功章」は、明治18年に表彰制度として定められました

地域サロン200回記念

地域福祉課

毎月1〜3回にわたり活発に開かれていた地域サロン。200回目を迎えた各サロンを紹介します。

古閑ミニサロン

「第1回から元気に参加している10名の中で、最年長の北村ムツエさんは、いつもステキな装いでサロンに華を添えます」と代表の佐伯ヒロ子さん。笑いとおしゃべりが絶えない古閑ミニサロンです。



最年長の北村ムツエさん。いつもおしゃれな装いで参加されます。サロンも華やかな雰囲気！



笑い声が溢れる元気ハツラツなサロンです！

下砥川美守る会サロン

同サロンの開催が200回を迎えたことに驚く代表の高田義視さんは、「継続することの大切さをあらためて実感します」と喜びます。

その一方で「初期の頃は多くの参加者でにぎわったようです。現在は参加者も減ってきていますが、将来もこの活動が活発になるよう、みんなで広く声がけして盛り上げていきたい」と話しました。



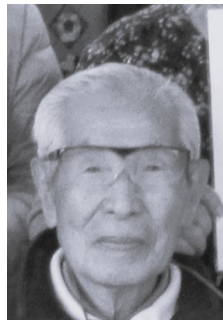
最年長の松田登・計子夫婦。料理上手な松田さん。登さんも毎日の食事を楽しまれ、二人の仲睦まじい姿に皆さん和みます。



今年度のサロン目標は参加者を増やすこと！

馬水南結いの会

馬水南区の初代区長を務めた、同サロンで最年長となる松本稔さんは、現在も熱心に参加しています。「馬水南結いの会」の代表の折田豊生さんは「会の発足時からこれまで、多くの先輩たちが築かれたきた交友の場。これからも地域の輪を大切に、人と人との心をつなぎながら親睦を深めていきたい」と話します。



最年長の松本稔さん。謡いがお得意でサロンでも披露され、皆聞き入っておられました。



これからも和の心で地域の輪を結び続けます！

安永3町内ふれあいサロン

地域住民同士の交流を深めることのみならず、ひとり暮らしの高齢者の安否確認や見守りといった役割も担っている同サロン。

「安永3町内のコミュニティの活性化はもとより、困ったことがあれば連絡ができる、ひきこもりにならないよう見守る、そんなサロン活動も続けていきたい」と代表の石田稔さん。



最年長の川島トキエさん。体の柔軟性があり、前屈で両手の平が床につくほどの体が柔らかく健康なトキエさん。毎回楽しく参加されます。



サロンを通じ、皆さん同士で見守り合える関係づくり！

第4回例会を開催

高齢者相談・地域福祉委員とは、担当地域の高齢者やその家族、地域住民などの悩みや心配ごとなどを社協や専門機関につなぐ役割を担っており、社協から委託して活動していただいています。

今回は、熊本地震から9年が経過し、各地で災害が発生している状況を踏まえ、「災害ボランティアセンターについて」と題し報告しました。能登半島地震の被災地である珠洲市災害ボランティアセンターでの応援派遣活動の報告、当

協議会の橋本職員からは熊本地震当時の災害ボランティアセンター活動を報告しました。委員からは「実際、災害を経験し困ったことや大変だったことを、知っていると思うのの人に伝えられると思う」「あの時支援物資など大変だった」など当時を振り返り、珠洲市に思いを寄せました。

その後は、それぞれの地域性に基づく課題について語り合い、意見を交わし合う時間となりました。



災害時の備えについて熱心に受講される委員の皆さん



日頃の活動の中で見えてきた地域課題等について情報共有

認知症サポーター養成講座

地域福祉課

生協くまもと職員を対象に実施

3月4日（火）、益城町古閑にある生協くまもと事務所で、「認知症サポーター養成講座」を実施し、7名の職員に参加いただきました。生協くまもとでは、毎年新人職員を対象に、この講座を会社方針の一環として継続的に受講されており、ほぼすべての事務所職員が養成講座を修了し、サポーターの証である「オレンジリング」を身につけています。講座では、業務中に実際に起こり得るような具体例を交えながら、認知症への正しい理解、対応方法、

そして予防について話しました。参加職員は、熱心にメモを取り、熱心に耳を傾けていました。

所長からは「オレンジリングを名札につけていると、組合員の家族から『講座を受けている人なら安心ですね』と言われたことがある。こうした講座を受講することで、組合員の安心感につながり、同時に職員の資質向上にもつながる」と話され、企業として、認知症に対する高い意識を持って取組まれている姿勢が感じられました。



熱心に受講された意識の高い職員の皆さん



受講後、認知症サポーターの証である「オレンジリング」を配布

社会福祉士連絡会

在宅福祉課

養護老人ホーム花へんろ見学

3月21日（金）町内の事業所に所属する社会福祉士を対象に開催しました。この連絡会は、町内で活躍する社会福祉士同士が分野を越えて連携を図り、相互理解を深めることを目的としています。当日は、高齢者施設、児童福祉施設、障がい者施設、地域包括支援センターから14名が参加しました。

今回は、新たに馬水地区に移転される養護老人ホーム「花へんろ」の見学を行い、施設に所属する社会福祉士から、養護老人ホームの機能や役割について話しました。実際に施設内を見学することで、利用者の状態に応じた幅の広い工夫がされているところや、職員が働きやすい環境づくりにも配慮されていることが分かりました。

同じ社会福祉士であっても、分野が異なると養護老人ホームとの関わりが少なく、今回初めてその実情を知ることができたという声もありました。見学を通じて、益城町内にある社会資源の把握や理解を深めることができました。



園田施設長から施設の詳細説明



フロアごとの特徴などもご説明いただきました

セブンイレブン寄贈

在宅福祉課

セブンイレブンジャパン寄贈

4月4日（金）熊本県社会福祉協議会を通じて、セブンイレブン・ジャパンより食料品および生活用品を寄贈いただきました。

同社では、2017年8月から、店舗の改装時などに発生する酒類やタバコ、切手類などの免許品、鮮度管理商品を除く在庫商品の一部を、寄贈という形で提供されています。これらの寄贈品は、社会福祉協議会を通じて、高齢者、障がい者、子ども、生活困窮者などを支援する団体・施設へ分配され、

地域福祉の推進およびフードロス削減につながっています。

今回は、同社の有志職員の皆さまからの温かいご厚意により、食料品や生活用品等をご寄贈いただきました。

お寄せいただいた寄贈品は、生活にお困りの世帯や、当協議会が行う地域福祉活動の中で、有効かつ大切に活用させていただきます。このたびのご協力に、心より感謝申し上げます。



同社職員（写真左）からの寄贈をいただきました



食料品（レトルト食費、パックご飯、菓子類等）や生活用品（マスク、キッチンペーパー等）を寄贈いただきました

会員紹介 ～タスキ～

No.55

氏名／小田照美さん（田原）
所属／剪定作業班



高年齢者の生きがいづくり シルバー人材センター

会員登録のきっかけは？

友人からの紹介もありましたが、一番のきっかけは、数年前に心筋梗塞で倒れたことです。多くの方々のおかげがあり、幸いにも一命を取り留めることができ、改めて「地域の皆さんに何か恩返しができなにか」と強く思うようになり、登録することを決めました。

活動を通して思うことは？

活動を始めてから、経験豊富な皆さんが、丁寧に指導してくださるおかげで、無理なく仕事を続けることができています。自分の



帰命無量寿如来
南無不可思議光
法蔵菩薩因位時
在世自在王仏所

自筆の写経 2冊

「正信念仏偈」「仏説阿彌陀經」

趣味を教える人へのメッセージ

書道が趣味です。現在は小学校などで子どもたちに書道を教える機会もあり、その時間を大切にしています。

趣味を教えて下さい

体調と相談しながら取り組める環境が整っているため、安心して活動でき、大変満足しています。



作業中の小田さん。植木ごとの剪定時期の見極めが大事とのこと！

今年度を振り返り 意見を交換しました！

本年度の活動を振り返るため、作業内容ごとに分かれて報告会を開催しました。

報告会では、今年度の活動内容や成果について、現場での作業写真や具体的なエピソードなどを交えながら振り返りを行い、会員同士で経験や気づきを共有する貴重な機会となりました。

報告会

シルバー人材センター

また、次年度に向けたセンターの安全就業対策や年間計画についても確認し、今後の方向性を共有しました。

さらに、会員からは、より良い事業運営を実現するための多様な意見や提案が寄せられ、活発な意見交換が行われました。

今後も、登録されているすべての会員が、それぞれの持ち味を活かしながら地域社会に貢献し、心身ともに健康的に活動を続けていけるよう、誰もが参加しやすく、やりがいを感じられる事業運営を目指して参ります。



作業内容ごとに分かれての活発な意見交換会となりました



今年度の作業の様子を写真で振り返り（写真は谷川広場清掃）

社協報

当協議会が実施するイベントや相談日等について掲載しています。詳細はお気軽にお問い合わせください。

◇もの忘れ相談室

認知症に関する悩みや不安の解決を一緒に考え、医療機関や介護サービス等、必要な機関にご紹介する相談室を開設しています。

相談日／5月20日（火）

①13時30分から ②14時30分から

③15時30分から

場所／役場1階相談室1の2

※事前予約制です。

問／地域福祉課

☎096-214-5566

◇コミュニケーションソーシャルワーカー（CSW）

コミュニケーションソーシャルワーカーとは、どこに相談したらよいかわからない悩みごとや困りごとを受け止め、支援機関との連携や制度・サービスを活用しながら困りごとの解決を目指す地域の身近な相談員です。

ご相談は高齢・障がい・子ども・生活困窮、ひきこもりなどの枠組みに捉われ

◇シルバー人材センター会員募集

現在、事前予約制の個別入会説明会を実施しています。活動内容についてのご相談も可能です。興味のある方は、事前にご連絡ください。

日時／随時（平日9時から16時まで）

場所／保健福祉センター内事務所

（住所／益城町惣領1470）

問／シルバー人材センター

☎096-289-6092

◇在宅福祉課

ず、包括的に受け止めてご本人やご家族と困りごとの解決に向けて一緒に考えていきます。

福祉に関する相談や暮らしの中での困りごとはコミュニケーションソーシャルワーカーへご相談ください。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

イラスト：おじいちゃんとおばあちゃん

◇健康麻雀（初級編）講習会

追加募集について

「賭けない・飲まない・吸わない」を合言葉に「健康づくり・仲間づくり・生きがいづくり」を目的として実施します。この講座は、初心者向けの講座となります。

開催日程

時間／13時30分から16時30分

（学習1時間、実践2時間）

場所／町内施設・公民館等

参加条件／町内在住で初心者、未経験者

募集期間／5月7日（水）～5月30日（金）

※先着順 定員になり次第締め切ります。

問／地域福祉課

☎096-214-5566

	開催日		開催日
講座1	7月11日（金）	講座10	10月3日（金）
講座2	7月18日（金）	講座11	10月10日（金）
講座3	7月25日（金）	講座12	10月24日（金）
講座4	8月1日（金）	講座13	11月7日（金）
講座5	8月8日（金）	講座14	11月21日（金）
講座6	8月22日（金）	講座15	11月28日（金）
講座7	9月5日（金）	講座16	12月5日（金）
講座8	9月12日（金）	講座17	12月12日（金）
講座9	9月19日（金）	講座18	12月19日（金）

◇心配ごと相談

日常生活のちょっとした心配ごとから、土地や相続などの法律に関することまで相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

※予約不要（相談対応中の方はお待ちいただくことがありますので、あらかじめご了承ください）

日時／毎週水曜日

10時から12時、13時から15時

場所／役場1階相談室D

住所（益城町宮園702）

※相談員は左記の表をご覧ください。変更になる場合もあります。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

日程	専門相談員	相談員	
5月7日（水）	松尾英美（司法書士）		上野和子（民生児童委員）
5月14日（水）	松尾 一（行政相談委員）	谷川淳子（人権擁護委員）	河野啓子（民生児童委員）
5月21日（水）	松尾英美（司法書士）	滝川朋子（人権擁護委員）	徳山秀人（民生児童委員）
5月28日（水）	松尾 一（行政書士）		太田和夫（民生児童委員）
6月4日（水）	松尾英美（司法書士）		折田豊生（民生児童委員）

～つながる地域・住みよいまち～

地域サロン

町内の各地域サロンでは、高齢者をはじめ、地域の人々が楽しく集える場づくりが盛んに行われています。また、介護予防や閉じこもり防止、見守り、仲間づくり、社会参加を目的とした活動にも取り組んでいます。

谷川わくわくサロン



笑顔でピース！和気あいのサロンです！

令和4年7月から開始されたホヤホヤのサロンです。アットホームな雰囲気皆さん和気あいあいとしていて、月に1回のサロンを楽しみにしています。

開催日／毎月第3木曜日
時 間／13時30分から
場 所／谷川公民館



スカーレットで盛り上がりました

笑顔で集うサロン会



皆で役割分担し準備！笑顔あふれるサロンです！

平成18年10月から始まった笑顔で集うサロン会は現在、安永4町内公民館で開催されています。皆さん協力的で役割分担をしながら開催されています。笑顔が絶えない素敵なサロンです。

開催日／毎月第4木曜日
時 間／10時から
場 所／安永4町内公民館



益城町文化歌留多 何枚取れたかな～

地域を支えるふくしの輪

地域サロン 感謝状授与

2001年から24年間にわたり、地域サロン活動にボランティアとして尽力した森川馨さんと妻のとしえさん（小池秋永）に、感謝状が授与されました。

馨さんのエアギターによる圧巻のパフォーマンスは、参加者の笑いを誘い大評判でした。一方のとしえさんは日本舞踊を披露。聞けばとしえさんは、幼い頃から体が弱く、医師の薦めで体力をつけるために16歳から日本舞踊を習ったそうです。としえさんにとってかけがえのない日本舞踊が、参加者を楽しませてくれました。

長きにわたる2人のボランティア活動に、心より感謝します。

「誰もが安心して暮らせるまちづくりを支えている活動を紹介します」



地域サロンでご活躍された森川馨・としえご夫妻

2025年

5月

No.326

発行 / 社会福祉法人 益城町社会福祉協議会 会長 西村 博則

〒861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領1470
益城町保健福祉センター「はびねす」内
TEL/096-214-5566 FAX/096-214-5567
ホームページ <https://www.mashiki-shakyo.or.jp/>

